

平成27年度

清水町議会報告会と町民との意見交換会

# 報 告 書



平成27年10月

清水町議会

## 1 開催状況

地区	日時	会場	参加者	出席議員	出席事務局
清水地区	平成27年5月26日(火) 19:05~19:53	文化センター 2階会議室	6人	13人	3人
御影地区	平成27年5月27日(水) 19:02~20:57	御影公民館 2階講義室	17人	13人	3人
計			23人		

## 2 質疑、意見・提言等、アンケートの状況

地区	質疑、意見・提言等件数	アンケート回収 <意見・要望件数>
清水地区	5件	5枚<1件>
御影地区	35件	14枚<4件>
計	40件	19枚<5件>

## 3 質疑、意見・提言等、アンケートの意見・要望の処理方法（類似した内容は一項目として処理）

会場で回答済み とした項目	委員会で調査、検討が必要とした項目			回答でき ない内容	未回答
	議会運営	総務文教	産業厚生		
17項目 【4のとおり】	11項目 【5(1)のとおり】	2項目 【5(2)のとおり】	8項目 【5(3)のとおり】	0項目	2項目

## 4 会場で回答済みとした項目

No.	質疑、意見・提言等	回答
1	街の中に空き家が増えており、空き家対策はどうなっているのか。	本年度から、25年以上経過した住宅を解体する場合、上限50万円、町内業者施工、清水・御影市街地を対象などの条件で補助している。
2	資料に花火大会補助金100万円を追加するなどの内容で賛否が分かれたとあるが、どう理解すればいいのか。	賛否が分かれたが、多数決の結果、賛成多数となった。
3	花火大会補助金の減額について、減額提案の理由は。	補助金の提案があつて一度は可決になったが、その後、町から減額の提案があつた。理由は実行委員会から補助金の辞退があつたため。
4	花火大会補助金を要請していて、減らしてほしいは、おかしくないか。	寄付を集めた結果、予定以上の寄付金が集まったので取り下げになった。

5	今日の目的を出席者も感じ取らなければならぬ。苦情処理ではなく、議会のあり方、町民の行政への参加などを意見交換する場だと思う。	目的は議会が少しでも向上できるように、そのように発言していただきたい。
6	質問や意見を言っても、回答がなければやる意味がない。回答がないから誰も聞きに来ない。	町長との話は議会として把握していない。今は町政・議会のあり方について提言をいただく場。
7	地方創生政策の地域活性化交付金とは、どういう内容なのか。	人口減少対策は全員協議会で機構図等の説明があったが、まだ動いていない。総務文教常任委員会でその若手職員の意見も聴取したので、次の定例会で報告する。
8	町から提案があつて議論を始めるのではなく、テーマによっては、事前に議会としてのコンセンサスを持つようにしてはどうか。	予算の提案権は町に帰属し、議会は議決権を有している。議会は提案説明、質疑、討論、採決等の審議において政策過程に参画することになる。
9	本年は 81 億円の予算規模だが、会計士・税理士等の専門家がいないで、議会で監査をやり尽くせるのか。	決算は決算書や成果表等を基に賛否を明らかにしなければならない。日頃から住民との対話を忘れず調査・検討を行う必要があるが、手法は各議員が判断する。
10	体育館の更新など、体育系の施設の問題を議会としてとらえてほしい。	野球場は本年度と来年度で改修、町民プールは本年度基本設計、体育館は平成 32 年度までに改築に向けて協議、アイスアリーナはフロンガスの使用期限が平成 35 年までとなっている。
11	使われなくなった町有資産の売却のルールづくりが必要ではないか。フロイデも売ってしまえば町として手出しできず、黙って見ているしかないのか。	議会の議決要件はあるが、その他の基準はないのが現実で、原則的に公募で行われている。フロイデは営業する約束だったが、途中でやめてしまい、条件が浸透していなかった。
12	町営牧場もかなり老朽化しており、町で畜産業をサポートしていく必要があるのではないか。	町営牧場のあり方は、指定管理者制度又は譲渡等の方法も含め、農協と協議を進めている。施設面では草地改良を行う予定。
13	アンケートにある「具体的な政策提言」について、議会議員に期待しているのか。実際に政策を提案できるのか。	議員も具体的政策提言はできるが、採決が必要であり、実効性は議員個々の考え方になる。
14	花火大会補助金について、議会として 100 万円の補助を認め、その後、いらなくなったことも認めたのは、議会にも責任があるのではないか。	前年度の花火大会決算書が出ていないことなど、議論を尽くした結果である。
15	議会改革に伴って、最終的に何をどうしようとしているのか。意見交換をやっている目的は何か。	町民に分かりやすい議会を目指し、その手法の一つとしてこういう会を開いており、自己研鑽にもつなげていきたい。

16	ふるさと納税の取り組みについて、清水町は非常に少ないが、今後どういう取り組みをするのか。	アイスホッケーなど5項目の納税を展開しており、昨年から清水の特産品を送る取り組みを始めた。
17	空き家が清水町にもかなりあるが、300万円の予算がついており、今後の取り組みは。	本年度新たに予算化しており、上限50万円で町が補助しているが、申請状況は分からない。

## 5 委員会で調査、検討が必要とした項目

### (1) 議会に対するもの（議会運営委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	参加者が少ないのは、町民が無関心なのか、議会の問題なのか。 ・町民の参加が極めて少ないことは残念である。	より多くの方に参加していただくため、議会に対する関心を高める必要があり、今後、テーマを設けての開催や、少人数の議員による出前の意見交換の実施なども検討していく。
2	平成40年には、町の人口は6千人台になるというが、町がどうなっていくのか、実質的な方策はないのか。 ・清水町の人口減少対策に関する検討内容を説明してほしい。議員としての考え方は。	人口減少対策については、地方人口ビジョン及び地方版総合戦略が議決事項ではないため、議員間で協議を行い、議会として全員協議会を活用し関わっている。
3	人口が1万人なら適正なのか、何%の子供がいたら適正なのか、議会も勉強してほしい。	全員協議会で地方人口ビジョンの取り組みを協議予定であり、合わせて調査、研究したい。
4	昔より討論を行っているのは評価するが、討論の内容が一方的で、町民には分かりづらい。もう少し現実的に変えるべきではないか。	議案によっては、賛成・反対討論の論点が一致しないことがあり、町民に分かりやすい議論になるよう、自由討議を活用する方法もある。
5	議会改革は色々な手法があり、目的が議会基本条例でなくてもいいが、具体的に議会としてどのような方法をとるのか。	議会基本条例も議会改革の一つに挙げられるが、条例を制定しなくても、できることは取り組んできた経過がある。今後も終わりのない議会改革に、町民の声に耳を傾け、全議員で取り組んでいく。
6	今、日程のどこをやっているのか分からない。報告内容の質疑が終わり、その後に意見・提言はありますかと言っていたら分かりやすい。	議会報告の質疑と、意見・提言等の聴取の区分けを明確にして進行する。
7	議会報告会について、3回目以降は定数、報酬、討論、会議規則等の見直しなど、テーマを持って意見交換することも必要ではないか。 ・意見交換会開催については評価するが、開催の目的ポイントをしっかり整理し開催に臨むべきだと思う。	定数・報酬なども協議していくが、議会報告会と町民との意見交換会を開催することで課題が明らかになることもあり、テーマを設けての開催も検討していく。

8	清水町の重要課題について色々な意見が出てくるが、採決する前に町民に意見を投げかけてほしい。	議会としての対応は難しく、議員個々の活動で対応する。
9	この様な会を企画していただき、議会と町民との関係は良くなると思う。来年も出席したいので、来年も開催されることを願っている。	開催要領で毎年1回以上開催としており、継続開催していく。
10	今回の会議資料、前もってホームページに載せては。	議会報告会と町民との意見交換会資料を事前にホームページ掲載していく。
11	飲み物くらいは提供してほしかった。	まちづくり懇談会と同様に、飲み物の提供は行わない。

### (2) 町政に対するもの①（総務文教常任委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	J R十勝清水駅のプラットホームに椅子の設置をお願いしている。また、跨線橋の壁にポスターがあると賑やかになるのではないかな。	J R十勝清水駅に確認したところ、椅子の設置は高齢利用者から要望があるため内部協議を行っており、ポスターの掲示は管理面を考慮して掲示していないとのことだった。椅子の設置実現に向けて、J R十勝清水駅と協議を行ってほしい旨、執行側へ伝える。
2	アイスアリーナの芝生の上でバーベキューが行われ、芝に焼けた跡があった。	芝生の上でのバーベキューは禁止されていないが、モラルを守って利用するよう指導してほしい旨、執行側へ伝える。

### (3) 町政に対するもの②（産業厚生常任委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	道路用地の草を刈ると言っていたが、私有地と道路用地との間の草刈りはしないのか。 ・業者は機械で刈っているが、中途半端に頼むのであれば、刈らないほうがいい。	道路用地のごみステーション及び電柱と支線の間のこと、町で草刈りを行い今後も対応していくとのことだが、話があったから行うのではなく、町内をしっかりと点検のうえ、道路の草刈りを実施するよう執行側へ伝える。
2	スポーツツーリズムの補助金を2年間出したが、成果を町民に開示すべきではないか。 ・平成25年度の成果品としてスポーツツーリズム基本計画が出されているが、計画書を町民に公開すべきではないか。 ・町が側面的に支援していくのであれば、当然町民も協力しなければならない。平成25年度補助金の成果として計画書が出ており、町民に公表すべきと思うが。	「合宿のまち基本構想・計画」は町の計画ではなく、積極的な公表は行われなかったため、情報公開条例に基づく公文書の公開請求で対応いただきたい。

3	バイオエタノール工場が閉鎖されるが、もう少し前に有効活用できるような方法はとれないのか。	バイオエタノール燃料製造のための施設で、移設や飲用への転換は国の許可を得るのが難しいため、話は進展しなかった経過があり、施設の活用は未定となっている。
4	ペケレベツ川の水質汚濁の一般質問について、町長の答弁が違うのではないかと。糖蜜を使っているのか、議員は答弁を納得しているのか。	ペケレベツ川の色との関係は、町長答弁のとおり製造過程で発生する糖蜜液の色素が原因である。
5	ペケレベツ川に関連で、基準を満たしているからではなく、色々な人たちがどう見るのか、どんな印象を持つのかの視点で考えていくべきではないか。	工場においても、排水の色素改善に向けて、仮設設備を設置して調査研究が進められている。
6	空き家対策の補助は、全国的、全道的に一律なのか。面積当たりの縛りについて、他町村と比較したほうがいいのか。	十勝管内では7町村が取り組んでいる。補助制度は一律ではなく金額の違いがあるが、本町は予算が不足すれば補正対応するとの積極的な取り組みを行っており、また、対象地域や事業系への拡大検討も予定されている。
7	合同墓について、老人福祉を兼ねて適当な場所に適当な金額で入れるものをつくってほしい。	清水霊園内に骨箱のまま管理できる無縁仏の埋葬設備があり、この施設の活用が検討されているが、議会としても調査していきたい。
8	廃屋の関係は、マイナンバー制度などの活用を検討し、色々な制度を複合的にみながら取り組むことを期待する。	マイナンバー制度については流動的であり、経過を見守りたい。



## 6 アンケート集計結果

1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性別 男性：19人、女性：0人

年齢 20歳代：0人、30歳代：0人、40歳代：4人、50歳代：3人、  
60歳代：5人、70歳以上：7人

2. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように知りましたか。

議会だより：9人、お知らせ版：6人、新聞折込みチラシ：13人、  
ホームページ：2人、その他：1人（複数回答）

3. 「議会報告」の内容はどうでしたか。

分かりやすかった：9人、どちらともいえない：6人、分かりにくかった：3人、  
無回答：1人

4. 「議会報告」の時間はどうでしたか。

長かった：4人、ちょうどよかった：10人、短かった：3人、無回答：2人

5. 「質疑応答、意見・提言等の聴取」の時間はどうでしたか。

長かった：2人、ちょうどよかった：9人、短かった：6人、無回答：2人

6. 「議会報告会と町民との意見交換会」を評価しますか。

評価する：9人、どちらともいえない：8人、評価しない：1人、無回答：1人

7. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる：16人、関心のあるものだけ読んでいる：2人、  
読んでいない：0人、無回答：1人

8. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている：6人、時々見ている：4人、見たことはない：9人

9. 清水町議会の本会議や委員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している：1人、時々傍聴している：9人、傍聴したことはない：6人、  
無回答：3人

10. 清水町議会議員に期待することは何ですか。

町政の監視機能：9人、具体的な政策の提言：13人、町民との対話：9人、  
議会情報の発信：7人、その他：1人（複数回答）

## 7 昨年の意見・提言等で執行側へ対応を求めた項目の検証結果

H26年 意見・提言等	H26年 調査、検討結果	H27年 検証結果
<p>予算編成にあたって、予算をつくってから町民に説明するのではなく、町民の意見を聞いて予算をつくるのが本来ではないか。</p> <p>・予算を組む前に議員へ相談してほしいと言ったが、それはできないと言われた。</p>	<p>基本的に予算の提案権は町側にある。昨年は「町民と町長のまちづくり懇談会」が中止になったが、予算編成に際し、町民の意見聴取を最大限行い、予算に反映させる努力をしてほしい旨、執行側へ伝える。</p>	<p>昨年の11・12月に「町長と町民とのまちづくり懇談会」を町内14会場で開催して意見聴取を行っているが、更に内容を充実させていく必要がある。</p>
<p>幼児教育について、本町では集団保育を行っているが、遊びの環境保育を勉強してほしい。</p>	<p>遊びの環境保育は現状でも勉強されており、今後も勉強していく必要がある旨、執行側へ伝える。</p>	<p>遊びの環境保育等は、様々な学習機会を通じて勉強されており、保育士の自主的な活動や西部十勝4町での研究・研修会において、保育の質の向上に努められている。</p>
<p>道路を削った後の雪を老人が除雪するのは大変で、一考願いたい。</p>	<p>除雪での悩みの一つであり、今後も他の自治体の事例等を参考に検討されるよう執行側へ伝える。</p>	<p>除雪後の雪をすべて取り除くのは困難だが、本年の冬から社会福祉協議会で高齢者の生活支援の観点から、小型除雪機を保有して町内会等へ無償貸付が予定されている。</p>